施策16

清潔で美しいまちをつくる

（全 13 事務事業）

施策16.清潔で美しいまちをつくる

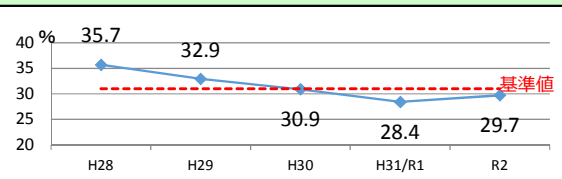
● 施策評価表

● 事務事業評価表

		掲載開始ページ
1. 北筑昇華苑葬祭業使用料助成事業	（健康課）	16-1
2. 畜犬等対策事業	（生活安全課）	16-3
3. 水質検査事業	（生活安全課）	16-5
4. 町内清掃事業	（生活安全課）	16-7
5. 生活環境監視事業	（生活安全課）	16-9
6. 焼却場跡地周辺環境整備事業	（生活安全課）	16-11
7. 吉原地域活性化委員会運営事業	（生活安全課）	16-13
8. 空き地等草刈り事業	（生活安全課）	16-15
9. 糟屋地区廃棄物不法処理防止連絡協議会参画事業	（生活安全課）	16-17
10. 大気調査事業	（生活安全課）	16-19
11. 緑化推進事業	（都市整備課）	16-21
12. 花づくり事業	（都市整備課）	16-23
13. 道路違法広告物撤去事業	（都市整備課）	16-25

施策評価表			後期 «平成28年度～令和2年度»	
計画体系	政策	5．安全で快適に暮らせるまち 【防犯・防災・住環境】	施策統括課	生活安全課
後期基本	施策	１６．清潔で美しいまちをつくる	関 係 課	都市整備課

１．めざそう値からみた達成度

成果指標	単位	基準値	最終実績値 目標	実績値の年次推移	判定
住んでいる地域が良好な住環境であると感じる町民の割合 （町民意識調査）	%	31.0	29.7 ↗		b

めざそう値達成度：a …目標を達成している、b …目標をわずかに達成していない　c …目標を達成していない

２．取り組み方針の実施状況と方向性

１６－１　マナー啓発や美化活動により美しいまちを維持する	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度　順位（57項目中） 美化活動の促進とペットの飼い主へのマナー啓発　11位/56位	生活安全課

成果指標	単位	基準値	目標	区分	実績値の年次推移 H28	H29	H30	H31/R1	R2	判定
住んでいる地域が良好な住環境であると感じる町民の割合 （町民意識調査）	%	31.0	↗	実績値	35.7	32.9	30.9	28.4	29.7	×
町内会等の美化活動数	回	2	→	実績値	2	2	2	2	0	×

成果指標達成度：○ …目標を達成している　×…目標を達成していない
成果指標総合判定：A…成果指標判定がすべて○、B…半数以上が○、C…半数未満が○

成果指標総合判定
C

まちが取り組むべきこと①	ペットのふん害を予防するため、飼い主へのマナー啓発を進めます
5年間の取り組み状況	・飼い犬等のふん害の防止に関する条例をもとに、飼い主のマナー向上とふん害等の防止に関する意識の高揚を図るため現地での直接指導、広報誌等での周知、掲示物の配布及び設置を行った。 ・環境監視員による指導、広報、啓発活動を行った。
残された課題	・動物の糞害、野良猫への無責任な餌やり、生活環境を悪化させる事象は、後を絶たない。
令和4年度取り組み方針	・生活環境被害を軽減させるため、野良猫への無責任な餌やりに対して適切に指導するとともに、地域猫活動支援事業による不妊去勢手術を実施するなどの取組を推進し、環境監視員を効果的に活用し、ペットの糞害に対する啓発、指導を行う。
まちが取り組むべきこと②	環境監視員によるパトロールなどの啓発活動を実施します
5年間の取り組み状況	・ごみ分別及び排出場所の監視、指導を実施。不法投棄ごみの監視及び運搬処理、飼い犬及び飼い猫に係る巡回広報活動を実施した。
残された課題	・ポイ捨てや不法投棄が後を絶たない。
令和4年度取り組み方針	・環境監視員を効果的に活用し、不法投棄、野焼き、ペットの糞害などの生活環境に関する問題に対する啓発や指導を行う。

まちが取り組むべきこと③	一斉清掃や花づくり活動などの美化活動への町民の参加を促進します
5年間の取り組み状況	・春と秋に町内一斉清掃を実施したが、令和2年度については新型コロナウイルス感染症防止の観点より中止とした。 ・花づくり活動については、各種ボランティア団体等の協力を得て、人通りが多い道路沿いの花壇や公共用地等に年間を通して花を植えていただく取り組みを行った。
残された課題	・町民の日常生活における環境美化意識やモラルの向上。 ・花づくり活動の参加者の固定化や高齢化による参加者数の減少。
令和4年度取り組み方針	・町内一斉清掃に関しては、自分たちのまちは自分たちできれいにするという、環境美化及び公衆衛生の向上を図るとともに、住民の環境美化・保全に対する意識の向上のため、今後も春と秋の年２回実施する。また事業所にも参加を呼びかける。 ・花づくり活動については、参加者確保に引き続き取り組んでいくとともに、花壇の統廃合などの現状に即した事業見直しを行う。

取り組み方針の達成状況

- ☐ 方針に沿った取り組みを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている
- ☑ 方針に沿った取り組みを実施したが、成果があがっていない
- ☐ 方針に沿った取り組みを実施できず、成果があがっていない

令和4年度の取り組み方針の方向性	☐ 重点 ☑ 維持 ☐ その他

３．施策の総括と今後の展開

めざそう値、『住んでいる地域が良好な住環境であると感じる町民の割合』は基準値31.0%より上に対し、最終実績値が29.7%と目標を下回っているが『町内会等の美化活動数』については、令和2年度に新型コロナウイルス感染症防止の観点より全体での町内一斉清掃の中止を除けば、目標値を維持することができた。日頃から、自分たちのまちは自分たちできれいにするという環境美化に対する意識を向上させるため、町、町民、事業所が一体となりそれぞれの立場で考え行動し、環境美化活動を柱とし、清潔で美しいまちを目指す。

４．施策の達成状況

☐ 目標をすべて達成できた	※めざそう値の判定ですべてがa
☐ 目標をある程度達成できた	※めざそう値の判定で半数以上がa
☐ 目標をあまり達成できなかった	※めざそう値の判定で半数未満がa
☑ 目標を達成できなかった	※めざそう値の判定ですべてがｂまたはｃ

[志免町]

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

☐ 令和02年度 実施計画事業　　作成日 令和 3 年 4 月 20 日

事務事業	10036	北筑昇華苑葬祭場使用料助成事業	担当課	健康課	担当係	健康管理係

後期計画体系				予算科目			
計画	施策	16	清潔で美しいまちをつくる	会計	1	一般会計
体系	取り組み方針	450	マナー啓発や美化活動により美しいまちを維持する	款	4	衛生費
				項	1	保健衛生費
				目	1	保健衛生総務費
法令根拠条例等		北筑昇華苑組合規約及び葬祭場使用料の一部負担に関する規程		個別計画		
実施期間	☐02年度のみ	☑単年度繰返	S56 年度より開始	☐期間限定（複数年）	年度～	年度

【事業の目的・内容】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

住民が3市7町（福岡市、福津市、古賀市、糟屋郡7町）の組合で創設した葬祭場（北筑昇華苑）を使用するにあたっての経済的負担を軽減するため、葬祭場使用料金の一部を町が負担する。
使用料は志免町民であれば、大人（10歳以上）40,000円、小人（10歳未満）20,000円、死産児6,000円で、そのうち、大人20,000円、小人10,000円、死産児3,000円を町が負担する。

【業務内容（町職員の仕事内容）】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

会計課にて北筑昇華苑の使用料を徴収（町民であれば町負担分を差し引いた額を徴収）。
健康課にて月締めで火葬料金徴収状況報告書を作成し、翌月15日までに北筑昇華苑組合へ報告。
使用料は個人負担分は会計課より、町負担分は健康課より、北筑昇華苑組合に月ごとに納入。

☐ 2次評価会議に提出します（左にチェックを入れる）

主な事業費の内訳

葬祭場使用料一部助成金	7,250 千円
	千円
	千円
	千円
	千円

1 現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

02年度に行った主な活動（※箇条書きで記入）

使用料個人負担分の徴収。
火葬料徴収状況の報告。
報告使用料町負担分の支払。

② 対象（誰、何を対象にしているのか）

町民

③ 意図（この事業で、対象をどのような状態にしたいのか）

町民の葬祭にかかる費用の負担を軽減する。

事務事業の目的

④ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
			指標数値		
ア	使用料個人負担分徴収件数（町外者等含む）	件	92	0	0（見込）
イ	町負担分支払回数	回	12	12	12（見込）
ウ	火葬料徴収状況報告回数	回	3	0	0（見込）

⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
ア	人口	人	46,255	46,587	46,544（見込）
イ					（見込）
ウ					（見込）

⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位		01年度	02年度	03年度
ア	補助件数（大人・小人・死産児含む）	件	目標	385	385	385
			実績	366	363	
イ			目標			
			実績			
ウ			目標			
			実績			
エ			目標			
			実績			
オ			目標			
			実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳（千円）		01年度（決算値）	02年度（当初予算）	02年度（決算値）	03年度（当初予算）	04年度（計画）	05年度（計画）
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源	7,239	7,700	7,250	7,700		
		合計（A）	7,239	7,700	7,250	7,700	0	0
		（内 会計年度任用職員人件費）						
	正職員人件費[按分]（B）		264	273	230	314		
	トータルコスト（A）＋（B）		7,503	7,973	7,480	8,014	0	0

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？（誰からの意見か明記）
昭和45年頃、住民の葬祭場として3市7町（福岡市、福津市、古賀市、糟屋郡）で北筑衛生施設組合を設立し古賀葬祭場を建設。住民の葬祭場使用の負担を軽減するために使用料の一部の補助を昭和56年頃開始。	昭和45年頃、住民の葬祭場として3市7町（福岡市、福津市、古賀市、糟屋郡）で北筑衛生施設組合を設立し古賀葬祭場を建設。住民の葬祭場使用の負担を軽減するために使用料の一部の補助を昭和56年頃開始。	特になし。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		02年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	令和02年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
☐ 廃止・休止 ☐ 目的の見直し ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 事務事業終了 ☑ 現状維持・継続		☐ 記述どおり実施できた （コメント必要ありません） ☐ 一部実施できた（理由→） ☐ 実施できなかった（理由→）	

2 評価（SEE）及び全体総括の部＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価		評価の理由
目的妥当性評価	① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください ☑ 貢献度大きい（理由→） ☐ 貢献度ふつう（理由→） ☐ 貢献度小さい（理由→）	火葬場使用料の一部を町が負担し、誰にでも公平に訪れる死・葬祭にかかる費用の負担を軽減することは、町民の生活を安心して快適に暮らせることになる。
目的妥当性評価	② 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？ （事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？） ☑ 妥当である（理由→） ☐ 妥当性が低い（理由→）	葬儀場使用料が高額であるため、町が一部負担することは望ましい。
有効性評価	③ 成果がこれ以上向上する余地（可能性）はありますか？ ☐ 成果向上余地がある （理由→） ☑ 成果向上余地がない （理由→）	成果を評価する事業ではない。
有効性評価	④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ ☑ 影響あり（理由→） ☐ 影響なし（理由→）	住民の負担が大きくなる。
効率性評価	⑤ 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋事務従事時間）を削減する新たな方法はありますか？（広域連携や民間委託等の導入など） ☐ ある（具体的な内容→） ☑ ない（理由→）	昨年度に組合市町が負担割合を一律にして葬祭場使用料の事務を火葬場で行うことで事務処理が軽減できた。事務従事時間を削減することができている。

(2) 02年度を振り返って（全体総括・反省点）

葬祭場の使用にあたり、住民の経済的負担を軽減するため、本事業に継続して取り組む。

3 今後の方向性（03年度以降の計画と04年度予算への反映）(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性（複数選択可）	(2) 令和03年度以降に取り組む内容と期待される効果
☐ 廃止・休止（理由→） ☐ 目的の見直し（内容→） ☐ 有効性改善（成果向上）内容→ ☐ 効率性改善（コスト削減）内容→ ☐ 事業終了 ☑ 現状維持・継続	

[志免町]

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

☐ 令和02年度 実施計画事業　　作成日 令和 3 年 4 月 1 日

事務事業	12036	畜犬等対策事業	担当課	生活安全課	担当係	生活環境係

後期計画体系				予算科目			
計画	施策	16	清潔で美しいまちをつくる	予算科目	会計	1	一般会計
体系	取り組み方針	450	マナー啓発や美化活動により美しいまちを維持する		款	4	衛生費
					項	1	保健衛生費
					目	7	環境衛生費
法令根拠条例等		狂犬病予防法		個別計画			
実施期間	☐02年度のみ	☑単年度繰返	S25 年度より開始	☐期間限定（複数年）	年度～ 年度		

【事業の目的・内容】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

狂犬病予防法に基づく事務。
狂犬病の発生を予防し、その蔓延を防止及びこれを撲滅することにより、公衆衛生の向上と公共福祉の増進を図ることを目的として、地域公民館等で年に1回予防接種を行う。

【業務内容(町職員の仕事内容)】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

狂犬病予防集団注射の実施事務。
窓口での犬の鑑札・狂犬病予防注射済票の交付、手数料の受領、データ入力・管理。
獣医師会への業務委託事務。

☐ 2次評価会議に提出します（左にチェックを入れる）

主な事業費の内訳

地域猫不妊去勢手術業務委託料	834 千円
消耗品費	313 千円
狂犬病予防注射済票及び鑑札交付等業務委託料	68 千円
事務備品購入費	46 千円
	千円

1 現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

02年度に行った主な活動（※箇条書きで記入）

・犬の新規登録、注射済の登録。抑留された犬の公示。
・狂犬病集団予防注射の受付事務。
・窓口での鑑札・注射済票の発行、犬の転入・転出・死亡による事務。
・獣医師会への業務委託事務。

事務事業の目的

② 対象（誰、何を対象にしているのか）

飼い主、飼い犬

③ 意図（この事業で、対象をどのような状態にしたいのか）

狂犬病予防注射を受ける頭数を増やし、狂犬病の発生を防ぐ。

④ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
			指標数値		
ア	狂犬病集団予防注射での注射頭数	頭	308	0	400（見込）
イ	犬の新規登録数（転入分含む）	頭	219	221	220（見込）
ウ	犬の減少頭数（転出＋死亡＋その他）	頭	167	201	200（見込）

⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
ア	犬の登録頭数	頭	2,062	2,082	2100（見込）
イ					（見込）
ウ					（見込）

⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位		01年度	02年度	03年度
ア	狂犬病予防注射済頭数	頭	目標	1,400	1,400	1,400
			実績	1,289	1,219	
イ	登録数に対する狂犬病予防注射実施率	%	目標	70.0	70.0	70.0
			実績	62.5	58.5	
ウ			目標			
			実績			
エ			目標			
			実績			
オ			目標			
			実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳（千円）		01年度（決算値）	02年度（当初予算）	02年度（決算値）	03年度（当初予算）	04年度（計画）	05年度（計画）
	経費	国・県支出金、地方債等	465		834			
		受益者負担等	416	1,284	442	1,712		
		一般財源						
		合計（A）	881	1,284	1,276	1,712	0	0
		（内 会計年度任用職員人件費）						
	正職員人件費[按分]（B）		3,077	3,266	3,219	3,920		
	トータルコスト（A）＋（B）		3,958	4,550	4,495	5,632	0	0

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？（誰からの意見か明記）
狂犬病予防法に基づく事務である。	犬の登録頭数は年々減少していて、狂犬病予防注射を受ける割合は、横ばい状態である。	特になし。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		02年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	令和02年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
☐ 廃止・休止 ☐ 目的の見直し ☑ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 事務事業終了 ☐ 現状維持・継続	注射率を向上させるため、毎年、集団予防注射ハガキの通知時に犬のいない場合の連絡通知は行っているが、より一層の情報提供や啓発を行っていく。	☐ 記述どおり実施できた（コメント必要ありません） ☐ 一部実施できた（理由→） ☑ 実施できなかった（理由→）	新型コロナウイルス感染症防止の観点より、集団予防注射は中止とした。

2 評価（SEE）及び全体総括の部 ＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価		評価の理由
目的妥当性評価	① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください ☑ 貢献度大きい（理由→） ☐ 貢献度ふつう（理由→） ☐ 貢献度小さい（理由→）	現在は、狂犬病の発症は無いに等しいが、流通が発達した現在では、外国からの侵入も考えられ、予防事務であるが、貢献度は大きいと思われる
目的妥当性評価	② 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？ （事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？） ☑ 妥当である（理由→） ☐ 妥当性が低い（理由→）	法律に基づく事業であり、現状、不治の病とされている狂犬病の発生を防ぐ必要がある。
有効性評価	③ 成果がこれ以上向上する余地（可能性）はありますか？ ☑ 成果向上余地がある （理由→） ☐ 成果向上余地がない （理由→）	狂犬病予防法により、犬を飼っている人は飼い犬に狂犬病予防注射を受けさせる義務が生じるので、注射実施率を上げていく必要がある。
有効性評価	④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ ☑ 影響あり（理由→） ☐ 影響なし（理由→）	法律に基づく事業のため、廃止・休止することができない。
効率性評価	⑤ 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋事務従事時間）を削減する新たな方法はありますか？（広域連携や民間委託等の導入など） ☐ ある（具体的な内容→） ☑ ない（理由→）	事務内容としては、犬の登録・注射実施の受付、データ入力なので、最低限の事務量を行っている

(2) 02年度を振り返って（全体総括・反省点）

新型コロナウイルス感染症防止の観点より、集団予防注射は中止とした。

3 今後の方向性（03年度以降の計画と04年度予算への反映）(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性（複数選択可）	(2) 令和03年度以降に取り組む内容と期待される効果
☐ 廃止・休止（理由→） ☐ 目的の見直し（内容→） ☑ 有効性改善（成果向上）内容→ ☐ 効率性改善（コスト削減）内容→ ☐ 事業終了 ☐ 現状維持・継続	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症防止策を講じながら、集団予防注射を実施したい。また注射率を向上させるため、毎年、集団予防注射ハガキの通知時に犬のいない場合の連絡通知は行っているが、より一層の情報提供や啓発を行っていく。

[志免町]

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

☐ 令和02年度 実施計画事業　　作成日 令和 3 年 4 月 1 日

事務事業	12037	水質検査事業	担当課	生活安全課	担当係	生活環境係

計画体系				予算科目			
後期計画	施策	16	清潔で美しいまちをつくる		会計	1	一般会計
					款	4	衛生費
	取り組み方針	450	マナー啓発や美化活動により美しいまちを維持する		項	1	保健衛生費
					目	8	公害対策費
法令根拠条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律第8条の規定		個別計画			
実施期間	☐02年度のみ	☑単年度繰返	H7 年度より開始	☐期間限定（複数年）	年度～ 年度		

【事業の目的・内容】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

・不燃物埋立跡地周辺の環境保全を図るため、廃棄物由来汚水の浸透、浸出水による公共用水域への影響を把握することを目的に、①地下水及び河川水の水位測定　②地下水及び河川水の水質③発生ガス調査を実施している。
・宇美川、坂瀬川、井野川の水質調査。

【業務内容（町職員の仕事内容）】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

不燃物埋立跡地周辺の環境保全を図るための調査業務委託に関する事務（入札、契約等）

☐ 2次評価会議に提出します（左にチェックを入れる）

主な事業費の内訳

不燃物埋立跡地周辺水質検査委託料	499 千円
河川水水質検査委託料	425 千円
	千円
	千円
	千円

1 現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

02年度に行った主な活動（※箇条書きで記入）

・年4回、13地点で水位測定、6地点で地下水の水質調査、2地点で河川水の水質調査、4地点で発生ガスの調査を実施
・年4回、宇美川5ヶ所、坂瀬川2ヶ所、井野川1ヶ所から採水し水質調査を実施

事務事業の目的

② 対象（誰、何を対象にしているのか）

宇美川
不燃物埋立地周辺宇美川・地下水

③ 意図（この事業で、対象をどのような状態にしたいのか）

・汚染状況が把握される。
・基準値を超える数値が検出されたときは、汚染源を特定し改善する。

④ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
ア	調査回数	回	4	4	4（見込）
イ					（見込）
ウ					（見込）

⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
ア	調査地点数	箇所	9	9	9（見込）
イ					（見込）
ウ					（見込）

⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位		01年度	02年度	03年度
ア	汚染地点数	箇所	目標	0	0	0
			実績	0	0	
イ			目標			
			実績			
ウ			目標			
			実績			
エ			目標			
			実績			
オ			目標			
			実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳（千円）		01年度（決算値）	02年度（当初予算）	02年度（決算値）	03年度（当初予算）	04年度（計画）	05年度（計画）
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源	904	951	923	984		
		合計（A）	904	951	923	984	0	0
		（内 会計年度任用職員人件費）						
	正職員人件費[按分]（B）		0	0	767	784		
	トータルコスト（A）＋（B）		904	951	1,690	1,768	0	0

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？（誰からの意見か明記）
平成7年9月に焼却灰等の埋め立てが終了、その後、遮水工事を実施した。汚染水の浸出状況を把握するために始められた。	特になし。	特になし。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		02年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	令和02年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
☐ 廃止・休止 ☐ 目的の見直し ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 事務事業終了 ☑ 現状維持・継続		☐ 記述どおり実施できた（コメント必要ありません） ☐ 一部実施できた（理由→） ☐ 実施できなかった（理由→）	

2 評価（SEE）及び全体総括の部＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価		評価の理由
目的妥当性評価	① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください ☑ 貢献度大きい（理由→） ☐ 貢献度ふつう（理由→） ☐ 貢献度小さい（理由→）	河川の水質を監視し、良好な住環境を保つため。
	② 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？（事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？） ☑ 妥当である（理由→） ☐ 妥当性が低い（理由→）	法令で定められている。
有効性評価	③ 成果がこれ以上向上する余地（可能性）はありますか？ ☐ 成果向上余地がある （理由→） ☑ 成果向上余地がない （理由→）	汚染が確認されていない。
	④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ ☑ 影響あり（理由→） ☐ 影響なし（理由→）	汚染状況を確認できなくなり、町民に不安を与えてしまう。
効率性評価	⑤ 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋事務従事時間）を削減する新たな方法はありますか？（広域連携や民間委託等の導入など） ☐ ある（具体的な内容→） ☑ ない（理由→）	必要最低限の調査しか行っていない。

(2) 02年度を振り返って（全体総括・反省点）

今後も続けて調査を行い、町民に不安を与えないようにしていく。

3 今後の方向性（03年度以降の計画と04年度予算への反映）(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性（複数選択可）	(2) 令和03年度以降に取り組む内容と期待される効果
☐ 廃止・休止（理由→） ☐ 目的の見直し（内容→） ☐ 有効性改善（成果向上）内容→ ☐ 効率性改善（コスト削減）内容→ ☐ 事業終了 ☑ 現状維持・継続	

[志免町]

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

☑ 令和02年度 実施計画事業　　作成日 令和 3 年 4 月 1 日

事務事業	12041	町内清掃事業	担当課	生活安全課	担当係	生活環境係

後期計画体系				予算科目			
計画	施策	16	清潔で美しいまちをつくる		会計	1	生活環境係
体系	取り組み方針	450	マナー啓発や美化活動により美しいまちを維持する		款	4	衛生費
					項	2	清掃費
					目	1	清掃総務費
法令根拠条例等				個別計画			
実施期間	☐02年度のみ	☑単年度繰返	S中期 年度より開始	☐期間限定（複数年）	年度～	年度	

【事業の目的・内容】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）
町内清掃を春と秋の二回実施し、一世帯1名の参加を呼びかけ、空き缶・空きビン等のごみを回収する。また、水路の清掃や公共地の草取りを行い、町民自らの手によってきれいな街にする。

【業務内容（町職員の仕事内容）】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）
ゴミ集積場の提供、回収業者の手配、助成金支払等

☐ 2次評価会議に提出します（左にチェックを入れる）

主な事業費の内訳

ごみ収集委託料
1,277 千円
千円
千円
千円
千円

1 現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）
02年度に行った主な活動（※箇条書きで記入）
新型コロナウイルス感染症防止の観点より、春・秋の町内一斉清掃を中止した。

事務事業の目的

② 対象（誰、何を対象にしているのか）
町民

③ 意図（この事業で、対象をどのような状態にしたいのか）
清掃活動をしてもらう

④ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
			指標数値		
ア	清掃活動実施数	回	2	0	2（見込）
イ					（見込）
ウ					（見込）

⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
ア	人口	人	46,255	46,587	46544（見込）
イ					（見込）
ウ					（見込）

⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位		01年度	02年度	03年度
ア	回収したごみの搬入台数	台	目標	571	571	571
			実績	389	0	
イ	1回あたりの平均町民参加率	%	目標	31.6	31.6	31.6
			実績	27.6	17.4	
ウ			目標			
			実績			
エ			目標			
			実績			
オ			目標			
			実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳（千円）		01年度（決算値）	02年度（当初予算）	02年度（決算値）	03年度（当初予算）	04年度（計画）	05年度（計画）
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源	3,722	3,991	1,277	3,803	3,803	3,803
		合計（A）	3,722	3,991	1,277	3,803	3,803	3,803
		（内 会計年度任用職員人件費）						
	正職員人件費[按分]（B）		2,927	3,188	2,989	4,308		
	トータルコスト（A）＋（B）		6,649	7,179	4,266	8,111	3,803	3,803

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？（誰からの意見か明記）
自分たちが住む町は自分たちできれいにするように意識向上が目的で開始された。	地域によっては、高齢化が進み作業が負担になってきている。	高齢化が進んでいる町内会では、不燃物選別場跡地への収集運搬が難しくなっているとの声がある。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		02年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	令和02年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
☐廃止・休止 ☐目的の見直し ☑有効性改善 ☐効率性改善 ☐事務事業終了 ☐現状維持・継続	町は住みよい美しいまちづくりを進めており、町民に対して意識を啓発することで向上余地がある。	☐記述どおり実施できた（コメント必要ありません） ☑一部実施できた（理由→） ☐実施できなかった（理由→）	新型コロナウイルス感染症防止の観点より、全体での町内一斉清掃は中止したが、町内会単位で単独で実施した所がある。

2 評価（SEE）及び全体総括の部＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価		評価の理由
目的妥当性評価	① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください ☑貢献度大きい（理由→） ☐貢献度ふつう（理由→） ☐貢献度小さい（理由→）	住民意識は高まってきており、年2回の町内一斉清掃は良好な住環境づくりに貢献している。
	② 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？ （事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？） ☑妥当である（理由→） ☐妥当性が低い（理由→）	町内一斉清掃作業は、町内会主体で行えるが、収集したごみ等の処理は町が行わなくてはならない。
有効性評価	③ 成果がこれ以上向上する余地（可能性）はありますか？ ☑成果向上余地がある （理由→） ☐成果向上余地がない （理由→）	町は住みよい美しいまちづくりを進めており、町民に対して意識を啓発することで向上余地がある。
	④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ ☑影響あり（理由→） ☐影響なし（理由→）	町は住みよい美しいまちづくりを進めており、町民に対して意識啓発ができにくくなる。
効率性評価	⑤ 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋事務従事時間）を削減する新たな方法はありますか？（広域連携や民間委託等の導入など） ☐ある（具体的な内容→） ☑ない（理由→）	町内会への世帯割りによる補助金を削減しており、集積場（不燃物埋立跡地）への搬入車両に対する補助を搬入回数1,000円／回に改定しているので、削減は難しい。

(2) 02年度を振り返って（全体総括・反省点）

新型コロナウイルス感染症防止の観点より、全体での町内一斉清掃は中止した。町内一斉清掃は町民に定着しており、この町内清掃事業は継続して行う必要があるが、今後は各町内会が主体となり、自主的に清掃活動を行っていくよう推進すべきと考える。

3 今後の方向性（03年度以降の計画と04年度予算への反映）(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性（複数選択可）	(2) 令和03年度以降に取り組む内容と期待される効果
☐廃止・休止（理由→） ☐目的の見直し（内容→） ☑有効性改善（成果向上）内容→ ☐効率性改善（コスト削減）内容→ ☐事業終了 ☐現状維持・継続	町は住みよい美しいまちづくりを進めており、町民に対して意識を啓発することで向上余地がある。また事業所にも参加を呼びかけたい。

[志免町]

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

☐ 令和02年度 実施計画事業　　作成日 令和 3 年 4 月 1 日

事務事業	12042	生活環境監視事業	担当課	生活安全課	担当係	生活安全課

後期計画体系				予算科目			
計画	施策	16	清潔で美しいまちをつくる		会計	1	一般会計
体系	取り組み方針	450	マナー啓発や美化活動により美しいまちを維持する		款	4	衛生費
					項	2	清掃費
					目	1	清掃総務費
法令根拠条例等		志免町環境監視員設置要綱		個別計画			
実施期間	☐02年度のみ	☑単年度繰返	H13 年度より開始	☐期間限定（複数年）	年度～ 年度		

【事業の目的・内容】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

町内における生活環境を保全するため、環境監視員を置いて、不法投棄の監視及び処理運搬、ごみ分別及び搬出場所の監視・指導、動物の死体処理・運搬等の環境衛生に関する業務を行っている。

【業務内容（町職員の仕事内容）】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

勤務割り作成、給与支払

☐ 2次評価会議に提出します（左にチェックを入れる）

主な事業費の内訳

環境監視作業委託料
4,488 千円
千円
千円
千円
千円

1 現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

02年度に行った主な活動（※箇条書きで記入）

民間委託により、監視員と共に不法投棄の回収、ごみ分別の監視・指導、動物の死体回収、犬の飼い主への啓発、その他環境衛生に関する業務を行った。

② 対象（誰、何を対象にしているのか）

町民

③ 意図（この事業で、対象をどのような状態にしたいのか）

ルールやマナーを守り、不法投棄等をなくす。

事務事業の目的

④ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
			指標数値		
ア	環境監視員数	人	2	2	2（見込）
イ	年間監視日数	日	200	200	200（見込）
ウ					（見込）

⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
ア	人口	人	46,255	46,587	46544（見込）
イ					（見込）
ウ					（見込）

⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位		01年度	02年度	03年度
ア	不法投棄の回収件数	件	目標	300	300	300
			実績	115	67	
イ	不法投棄の通報対応件数	件	目標	300	300	300
			実績	115	67	
ウ			目標			
			実績			
エ			目標			
			実績			
オ			目標			
			実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳（千円）		01年度（決算値）	02年度（当初予算）	02年度（決算値）	03年度（当初予算）	04年度（計画）	05年度（計画）
経費	国・県支出金、地方債等							
	受益者負担等							
	一般財源		4,034	4,831	4,488	3,331		
	合計（A）		4,034	4,831	4,488	3,331	0	0
	（内 会計年度任用職員人件費）					3,244		
正職員人件費[按分]（B）			2,401	2,488	2,453	1,250		
トータルコスト（A）＋（B）			6,435	7,319	6,941	4,581	0	0

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？（誰からの意見か明記）
職員の減で事務量に対する職員の負担が増し、事務処理に影響をきたし始めたため、平成13年度から本事業を個人委託し開始した。	最近では、家電等の無料回収への規制があり、不法投棄も徐々に増加傾向にある。 また、不法投棄された自転車が特に増加している。	住民から、啓発看板の設置や取り締まりを強化し、継続してもらいたいとの意見がある。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		02年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	令和02年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
☐ 廃止・休止 ☐ 目的の見直し ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 事務事業終了 ☑ 現状維持・継続		☐ 記述どおり実施できた（コメント必要ありません） ☐ 一部実施できた（理由→） ☐ 実施できなかった（理由→）	

2 評価（SEE）及び全体総括の部＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価		評価の理由
目的妥当性評価	① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください ☑ 貢献度大きい（理由→） ☐ 貢献度ふつう（理由→） ☐ 貢献度小さい（理由→）	不法投棄ごみや野外焼却、畜犬等の苦情処理処理に迅速に対応できる
	② 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？（事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？） ☑ 妥当である（理由→） ☐ 妥当性が低い（理由→）	生活環境を向上させ住みよいまちづくりを進めるため。
有効性評価	③ 成果がこれ以上向上する余地（可能性）はありますか？ ☐ 成果向上余地がある （理由→） ☑ 成果向上余地がない （理由→）	環境監視員が、不法投棄のパトロールを強化しており、苦情等について、素早く対応が出来ている。 広報誌やホームページで不法投棄についての啓発を行っている。 町内会と連携し、不法投棄への早期対応ができている。
	④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ ☑ 影響あり（理由→） ☐ 影響なし（理由→）	素早い苦情等の対応に支障が出る。 快適な生活環境が保てなくなる。
効率性評価	⑤ 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋事務従事時間）を削減する新たな方法はありますか？（広域連携や民間委託等の導入など） ☐ ある（具体的な内容→） ☑ ない（理由→）	必要最低限の費用である。

(2) 02年度を振り返って（全体総括・反省点）

不法投棄は町外からの持ち込みも考えられ、そのまま放置をすれば増加が予想され、今後も本事業を継続して行う必要があり、町内をくまなく巡回しているので、速やかな対応ができる。また、啓発看板の設置、不法投棄の回収等も十分に行った。

3 今後の方向性（03年度以降の計画と04年度予算への反映）(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性（複数選択可）	(2) 令和03年度以降に取り組む内容と期待される効果
☐ 廃止・休止（理由→） ☐ 目的の見直し（内容→） ☐ 有効性改善（成果向上）内容→ ☐ 効率性改善（コスト削減）内容→ ☐ 事業終了 ☑ 現状維持・継続	

[志免町]

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

☐ 令和02年度 実施計画事業　　作成日 令和 3 年 4 月 1 日

事務事業	12043	焼却場跡地周辺環境整備事業	担当課	生活安全課	担当係	生活環境係

計画体系				予算科目			
後期計画	施策	16	清潔で美しいまちをつくる	会計	1	生活環境係
	取り組み方針	450	マナー啓発や美化活動により美しいまちを維持する	款	4	衛生費
				項	2	清掃費
				目	1	清掃総務費
法令根拠条例等				個別計画		

実施期間　☐02年度のみ　☐単年度繰返　　年度より開始　☑期間限定（複数年）　25 年度～ 39 年度

【事業の目的・内容】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

志免町焼却場跡地整備委員会で、協議され承認された焼却場跡地周辺地域の環境整備を円滑に推進するため、志免町衛生センター周辺整備基金条例に基づき、焼却場（志免町衛生センター）が廃止された後の当該施設を含めた周辺の環境整備を行う。

【業務内容（町職員の仕事内容）】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

志免町焼却場跡地整備委員会で、協議され承認された焼却場跡地周辺地域の環境整備を円滑に推進するため、志免町衛生センター周辺整備基金条例に基づき、焼却場（志免町衛生センター）が廃止された後の当該施設を含めた周辺の環境整備を行う。

☐ 2次評価会議に提出します（左にチェックを入れる）

主な事業費の内訳

焼却場跡地周辺地域太陽光発電地元還元金
1,500 千円
千円
千円
千円
千円

1 現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

02年度に行った主な活動（※箇条書きで記入）

4公民館に設置している太陽光発電システムの余剰電力の売電料を焼却場跡地周辺地域の町内会へ還元。

事務事業の目的

② 対象（誰、何を対象にしているのか）

焼却場跡地周辺住民

③ 意図（この事業で、対象をどのような状態にしたいのか）

周辺住民の希望に沿った整備

④ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
			指標数値		
ア	売電契約件数	件	4	4	4（見込）
イ					（見込）
ウ					（見込）

⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
			指標数値		
ア	周辺整備町内会	町内	7	7	7（見込）
イ					（見込）
ウ					（見込）

⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位		01年度	02年度	03年度
				指標数値		
ア	余剰電力売電料	kwh	目標	45,000	45,000	45,000
			実績	40,742	44,135	
イ			目標			
			実績			
ウ			目標			
			実績			
エ			目標			
			実績			
オ			目標			
			実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳（千円）		01年度（決算値）	02年度（当初予算）	02年度（決算値）	03年度（当初予算）	04年度（計画）	05年度（計画）
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等	1,374	1,512	1,500	1,512		
		一般財源						
		合計（A）	1,374	1,512	1,500	1,512	0	0
		（内 会計年度任用職員人件費）						
	正職員人件費[按分]（B）		4,127	4,276	3,449	629		
	トータルコスト（A）＋（B）		5,501	5,788	4,949	2,141	0	0

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？（誰からの意見か明記）
平成8年4月13日に締結された協定書に基づき、志免町焼却場跡地整備委員会を設置。	委員会より焼却場跡地の周辺整備として、防犯灯LED取替や太陽光発電の設置及び余剰電力の有効利用について要望があった。	焼却場跡地の周辺整備を行った町内会から好意的意見を頂いた。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		02年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	令和02年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
☐ 廃止・休止 ☐ 目的の見直し ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 事務事業終了 ☑ 現状維持・継続		☐ 記述どおり実施できた （コメント必要ありません） ☐ 一部実施できた（理由→） ☐ 実施できなかった（理由→）	

2 評価（SEE）及び全体総括の部＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価		評価の理由
目的妥当性評価	① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください ☑ 貢献度大きい（理由→） ☐ 貢献度ふつう（理由→） ☐ 貢献度小さい（理由→）	焼却場跡地周辺地域を整備することにより、住みよい住環境の保全ができる。
	② 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？ （事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？） ☑ 妥当である（理由→） ☐ 妥当性が低い（理由→）	良好な住環境の保全は、行政の役割であるため妥当である。
有効性評価	③ 成果がこれ以上向上する余地（可能性）はありますか？ ☐ 成果向上余地がある （理由→） ☑ 成果向上余地がない （理由→）	志免町焼却場跡地整備委員会で、整備方針が決定され、それに沿って整備を進めていくこととなるため。
	④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ ☑ 影響あり（理由→） ☐ 影響なし（理由→）	地域住民の良好な住環境の整備ができなくなる。
効率性評価	⑤ 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋事務従事時間）を削減する新たな方法はありますか？（広域連携や民間委託等の導入など） ☐ ある（具体的な内容→） ☑ ない（理由→）	基金を利用した周辺整備であり、太陽光発電システムで得た余剰電力売電料の還元金であるため。

(2) 02年度を振り返って（全体総括・反省点）

新たに周辺整備を行った箇所はないが、余剰電力売電料の還元金を周辺整備町内会に配分することができた。

3 今後の方向性（03年度以降の計画と04年度予算への反映）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（複数選択可）	(2) 令和03年度以降に取り組む内容と期待される効果
☐ 廃止・休止（理由→） ☐ 目的の見直し（内容→） ☐ 有効性改善（成果向上）内容→ ☐ 効率性改善（コスト削減）内容→ ☐ 事業終了 ☑ 現状維持・継続	

[志免町]

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

☐ 令和02年度 実施計画事業　　作成日 令和 3 年 4 月 1 日

事務事業	12044	吉原地域活性化委員会運営事業	担当課	生活安全課	担当係	生活環境係

計画体系				予算科目			
後期計画	施策	16	清潔で美しいまちをつくる	会計	1	一般会計
	取り組み方針	450	マナー啓発や美化活動により美しいまちを維持する	款	4	衛生費
				項	2	清掃費
				目	1	清掃総務費
法令根拠条例等				個別計画		

実施期間　☐02年度のみ　☑単年度繰返　H21 年度より開始　☐期間限定（複数年）　年度～　年度

【事業の目的・内容】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

吉原環境を守る会・吉原町内会・水鉛町内会と締結された浄化センター建設に関する協定書に基づき、吉原地域活性化委員会を設置し、吉原地区及び周辺のためのまちづくりを協議し推進していく。

【業務内容(町職員の仕事内容)】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

吉原地域活性化委員会開催、先進地視察、施設整備

☐ 2次評価会議に提出します（左にチェックを入れる）

主な事業費の内訳

吉原地域活性化委員会委員報酬	261 千円
	千円
	千円
	千円
	千円

1 現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

02年度に行った主な活動（※箇条書きで記入）

吉原地域活性化運営委員会を開催し、地域活性化の方向性を検討し、ファミリー農園の候補地を決定した。

② 対象（誰、何を対象にしているのか）

吉原地域活性化委員、吉原地域

③ 意図（この事業で、対象をどのような状態にしたいのか）

吉原地区の地域活性化に対する意見要望を出してもらう。
活性化に向けた整備をする。

事務事業の目的

④ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
			指標数値		
ア	会議数	回	3	3	1（見込）
イ	視察数	回	0	0	0（見込）
ウ					（見込）

⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
			指標数値		
ア	委員数	人	12	12	12（見込）
イ	吉原地域	地区	1	1	1（見込）
ウ					（見込）

⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位		01年度	02年度	03年度
				指標数値		
ア	活性化のための要望数（累計）	件	目標	6	4	1
			実績	3	3	
イ			目標			
			実績			
ウ			目標			
			実績			
エ			目標			
			実績			
オ			目標			
			実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳（千円）		01年度（決算値）	02年度（当初予算）	02年度（決算値）	03年度（当初予算）	04年度（計画）	05年度（計画）
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等	218	592	261	2,039		
		一般財源						
		合計（A）	218	592	261	2,039	0	0
		（内 会計年度任用職員人件費）						
	正職員人件費[按分]（B）		1,126	1,633	2,682	4,618		
	トータルコスト（A）＋（B）		1,344	2,225	2,943	6,657	0	0

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？（誰からの意見か明記）
吉原環境を守る会・吉原町内会・水鉛町内会と締結された浄化センター建設に関する協定書に基づき、平成21年5月27日より、吉原地域活性化委員会を設置するため協議を開始。	吉原地域活性化委員会の会議で利用の方向性が確立されている。	職員からは、ファミリー農園が、吉原の地域活性化につながるのかとの意見もある。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		02年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	令和02年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
☐ 廃止・休止 ☐ 目的の見直し ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 事務事業終了 ☑ 現状維持・継続		☐ 記述どおり実施できた（コメント必要ありません） ☐ 一部実施できた（理由→） ☐ 実施できなかった（理由→）	

2 評価（SEE）及び全体総括の部＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価		評価の理由
目的妥当性評価	① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください ☑ 貢献度大きい（理由→） ☐ 貢献度ふつう（理由→） ☐ 貢献度小さい（理由→）	良好な住環境で生活するため、基金を利用して吉原地域を整備する。その目的が、上位施策の目的と合致している。
目的妥当性評価	② 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？ （事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？） ☑ 妥当である（理由→） ☐ 妥当性が低い（理由→）	町土の活性化に向けた整備は、良好な住環境形成に貢献するため、行政の役割だと考える。
有効性評価	③ 成果がこれ以上向上する余地（可能性）はありますか？ ☐ 成果向上余地がある （理由→） ☑ 成果向上余地がない （理由→）	委員会の開催・視察により、活性化の方向性を十分に議論できている。
有効性評価	④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ ☑ 影響あり（理由→） ☐ 影響なし（理由→）	町土の活性化に向けた整備ができなくなる。
効率性評価	⑤ 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋事務従事時間）を削減する新たな方法はありますか？（広域連携や民間委託等の導入など） ☐ ある（具体的な内容→） ☑ ない（理由→）	事務従事時間は、最低限で行っているため、削減余地はない。

(2) 02年度を振り返って（全体総括・反省点）

平成25年度に吉原地域活性化委員会の会議により、地域の活性化事業として「町民農園」を決定し、委員会より町に対し提言書が提出されている。
この提言を受け、吉原地域活性化に繋ぐ事業であるか慎重に検討した結果、農園維持管理費を負担することが非常に難しいことを含めて、町としてこの事業への取り組みは出来ないと判断、決定した。
平成29年度、新たな吉原地域活性化委員会を組織し、整備事業について検討協議を行い、令和2年度も引き続き委員会を開催した結果、あらたに提言書の提出があった。

3 今後の方向性（03年度以降の計画と04年度予算への反映）(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性（複数選択可）	(2) 令和03年度以降に取り組む内容と期待される効果
☐ 廃止・休止（理由→） ☑ 目的の見直し（内容→） ☐ 有効性改善（成果向上）内容→ ☐ 効率性改善（コスト削減）内容→ ☐ 事業終了 ☐ 現状維持・継続	令和2年度に提出された提言書をもとに、吉原地域活性化整備のため用地交渉等、関係予算を計上し、実現のため事業をすすめていく。

[志免町]

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

☐ 令和02年度 実施計画事業　　作成日 令和 3 年 4 月 1 日

事務事業	12045	空き地等草刈事業	担当課	生活安全課	担当係	生活環境係

計画体系				予算科目		
後期計画	施策	16	清潔で美しいまちをつくる	会計		
	取り組み方針	450	マナー啓発や美化活動により美しいまちを維持する	款		
				項		
				目		
法令根拠条例等				個別計画		

実施期間　☐02年度のみ　☑単年度繰返　H10 年度より開始　☐期間限定（複数年）　年度～　年度

【事業の目的・内容】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

空き地の雑草・木について地域から苦情が出た場合、条例に基づいて土地所有者・管理者に適正処理の依頼を行う。所有者・管理者が処理できない場合は所有者・管理者の依頼があったものについて、町が業者を斡旋し、草刈を代行処理を行っている。

【業務内容(町職員の仕事内容)】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

土地所有者・管理者に適正処理の依頼。
所有者・管理者が処理できない場合は町斡旋業者を紹介し、草刈を代行するよう処理する。

☐ 2次評価会議に提出します（左にチェックを入れる）

主な事業費の内訳

	千円
	千円
	千円
	千円
	千円

1　現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

02年度に行った主な活動（※箇条書きで記入）

地域住民からの草木の繁茂の苦情により、現場確認、土地所有者確認、所有者連絡の手順で適正処理を促す。所有者からの草刈業者斡旋依頼がある場合は、業者をあっ旋し、草刈りを代行する。

事務事業の目的

② 対象（誰、何を対象にしているのか）

苦情があった土地及びその所有者

③ 意図（この事業で、対象をどのような状態にしたいのか）

該当土地が適正に管理される。

④ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
			指標数値		
ア	草刈等依頼件数	件	7	12	10（見込）
イ					（見込）
ウ					（見込）

⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
			指標数値		
ア	苦情があった件数	件	28	35	50（見込）
イ					（見込）
ウ					（見込）

⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位		01年度	02年度	03年度
				指標数値		
ア	草刈済件数	件	目標	40	40	40
			実績	17	32	
イ			目標			
			実績			
ウ			目標			
			実績			
エ			目標			
			実績			
オ			目標			
			実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳（千円）		01年度（決算値）	02年度（当初予算）	02年度（決算値）	03年度（当初予算）	04年度（計画）	05年度（計画）
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源						
		合計（A）	0	0	0	0	0	0
		（内　会計年度任用職員人件費）						
	正職員人件費[按分]（B）		2,026	2,100	2,069	2,818		
	トータルコスト（A）＋（B）		2,026	2,100	2,069	2,818	0	0

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？（誰からの意見か明記）
昭和47年12月25日、志免町空き地の環境保全に関する条例を定め、実施している。	少しずつではあるが、空き地等に戸建住宅が建設されている一方で、空き家が増加している。	近隣の住民、町内会長から空き家、空き地以外に、居住されている住宅の庭木ににについての苦情が増えている。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		02年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	令和02年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
☐ 廃止・休止 ☐ 目的の見直し ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 事務事業終了 ☑ 現状維持・継続		☐ 記述どおり実施できた（コメント必要ありません） ☐ 一部実施できた（理由→） ☐ 実施できなかった（理由→）	

2 評価（SEE）及び全体総括の部＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価		評価の理由
目的妥当性評価	① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください ☑ 貢献度大きい（理由→） ☐ 貢献度ふつう（理由→） ☐ 貢献度小さい（理由→）	良好な住環境で生活できるという施策の目的に沿っている。
	② 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？（事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？） ☑ 妥当である（理由→） ☐ 妥当性が低い（理由→）	現在では、苦情があれば町が所有者へ連絡（文書等）を取り処理をお願いしたり、業者をあっ旋している。 志免町空き地の環境保全に関する条例に基づいた事業のため継続している。
有効性評価	③ 成果がこれ以上向上する余地（可能性）はありますか？ ☐ 成果向上余地がある （理由→） ☑ 成果向上余地がない （理由→）	苦情の連絡があり、文書や電話連絡をしても、個人所有の土地管理について、町としてもそれ以上の強制力はない。
	④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ ☑ 影響あり（理由→） ☐ 影響なし（理由→）	条例に沿った事務処理。 近隣住民（被害者）自身が、土地所有者・管理者へ直接働きかけることになる。法務局での土地所有者照会方法等を町民に周知する。
効率性評価	⑤ 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋事務従事時間）を削減する新たな方法はありますか？（広域連携や民間委託等の導入など） ☐ ある（具体的な内容→） ☑ ない（理由→）	条例に沿った事務処理なので、町としては仲介役であり事業費はかかっていないため。

(2) 02年度を振り返って（全体総括・反省点）

条例は町の権利を示したものであって、土地管理の義務・責任は土地所有者にある。本事業の問題は、町民の意識も行政事務の内容も、半ば町の義務化しているところにある。
居住されている庭の苦情が増えてきている。

3 今後の方向性（03年度以降の計画と04年度予算への反映）(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性（複数選択可）	(2) 令和03年度以降に取り組む内容と期待される効果
☐ 廃止・休止（理由→） ☐ 目的の見直し（内容→） ☐ 有効性改善（成果向上）内容→ ☐ 効率性改善（コスト削減）内容→ ☐ 事業終了 ☑ 現状維持・継続	

[志免町]

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

☐ 令和02年度 実施計画事業　　作成日 令和 3 年 4 月 1 日

事務事業	12046	糟屋地区廃棄物不法処理防止連絡協議会参画事業	担当課	生活安全課	担当係	生活環境係

後期計画体系				予算科目		
計画	施策	16	清潔で美しいまちをつくる	会計		
	取り組み方針	450	マナー啓発や美化活動により美しいまちを維持する	款		
				項		
				目		
法令根拠条例等				個別計画		
実施期間	☐02年度のみ	☑単年度繰返	H6 年度より開始	☐期間限定（複数年）	年度～	年度

【事業の目的・内容】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）
粕屋地区における廃棄物の不法処理の監視及び環境保全活動や情報交換を行っている。本協議会は、福岡県宗像・遠賀保健福祉環境事務所、粕屋警察署、糟屋地区1市7町で構成している。

【業務内容(町職員の仕事内容)】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）
不法投棄に関する事務

☐ 2次評価会議に提出します（左にチェックを入れる）

主な事業費の内訳

	千円
	千円
	千円
	千円
	千円

1 現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

02年度に行った主な活動（※箇条書きで記入）

粕屋地区廃棄物連絡協議会による不法投棄パトロールを行っている。

② 対象（誰、何を対象にしているのか）

糟屋地区1市7町の住民

③ 意図（この事業で、対象をどのような状態にしたいのか）

ルールやマナーを守り、不法投棄をなくす

事務事業の目的

④ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
			指標数値		
ア	実施回数	回	40	40	40（見込）
イ					（見込）
ウ					（見込）

⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
ア	糟屋地区1市7町の人口	人	294,058	294,975	295000（見込）
イ	糟屋地区1市7町の面積	㎢	206.71	206.71	206.71（見込）
ウ					（見込）

⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位		01年度	02年度	03年度
ア	不法投棄発見件数	件	目標	1	1	1
			実績	40	2	
イ			目標			
			実績			
ウ			目標			
			実績			
エ			目標			
			実績			
オ			目標			
			実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳（千円）		01年度（決算値）	02年度（当初予算）	02年度（決算値）	03年度（当初予算）	04年度（計画）	05年度（計画）
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源						
		合計（A）	0	0	0	0	0	0
		（内 会計年度任用職員人件費）						
	正職員人件費[按分]（B）		376	389	384	388		
	トータルコスト（A）＋（B）		376	389	384	388	0	0

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？（誰からの意見か明記）
粕屋地区廃棄物連絡協議会による不法投棄パトロールを行っている。	廃掃法により事業者などに廃棄物の不法処理・管理を指導している。	特になし。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		02年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	令和02年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
☐ 廃止・休止 ☐ 目的の見直し ☑ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 事務事業終了 ☐ 現状維持・継続	今後も引続き糟屋地区で情報を共有し、不法投棄させないよう啓発及び監視活動を充実していく。	☑ 記述どおり実施できた （コメント必要ありません） ☐ 一部実施できた（理由→） ☐ 実施できなかった（理由→）	

2 評価（SEE）及び全体総括の部＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価		評価の理由
目的妥当性評価	① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください ☑ 貢献度大きい（理由→） ☐ 貢献度ふつう（理由→） ☐ 貢献度小さい（理由→）	1市7町を含む廃棄物不法処理防止連絡協議会にて、情報を共有し大型の不法投棄ごみ処理を行っている。→良好な住環境の保全という施策の目的に沿っている。
目的妥当性評価	② 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？ （事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？） ☑ 妥当である（理由→） ☐ 妥当性が低い（理由→）	不法投棄をなくし、住みやすい粕屋地区づくりを図る。→良好な住環境の保全は町の役割なので妥当。
有効性評価	③ 成果がこれ以上向上する余地（可能性）はありますか？ ☑ 成果向上余地がある （理由→） ☐ 成果向上余地がない （理由→）	啓発及び監視活動の充実。→啓発及び監視活動の充実をはかることで、さらに不法投棄が防止できる。
有効性評価	④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ ☑ 影響あり（理由→） ☐ 影響なし（理由→）	広域的な取り組みで、情報を共有化し処理していくことは必要である。
効率性評価	⑤ 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋事務従事時間）を削減する新たな方法はありますか？（広域連携や民間委託等の導入など） ☐ ある（具体的な内容→） ☑ ない（理由→）	予算計上なし。

(2) 02年度を振り返って（全体総括・反省点）

県による広域的なパトロールではあるが、地上やヘリコプターで上空より監視することにより、不法投棄が発見でき適切な処理が行われている。

3 今後の方向性（03年度以降の計画と04年度予算への反映）(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性（複数選択可）	(2) 令和03年度以降に取り組む内容と期待される効果
☐ 廃止・休止（理由→） ☐ 目的の見直し（内容→） ☑ 有効性改善（成果向上）内容→ ☐ 効率性改善（コスト削減）内容→ ☐ 事業終了 ☐ 現状維持・継続	今後も引続き糟屋地区で情報を共有し、不法投棄させないよう啓発及び監視活動を充実していく。

[志免町]

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

☐ 令和02年度 実施計画事業　　作成日 令和 3 年 4 月 1 日

事務事業	12047	大気調査事業	担当課	生活安全課	担当係	生活環境係

後期計画体系				予算科目		
計画	施策	16	清潔で美しいまちをつくる		会計	
					款	
	取り組み方針	450	マナー啓発や美化活動により美しいまちを維持する		項	
					目	
法令根拠条例等				個別計画		
実施期間	☐02年度のみ	☑単年度繰返	H16 年度より開始	☐期間限定（複数年）	年度～ 年度	

【事業の目的・内容】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

大気に影響する疑いのある地域において、大気汚染調査を県にお願いし、所有している大気調査車両で大気調査を行う。

【業務内容（町職員の仕事内容）】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

大気調査に関する事務

☐ 2次評価会議に提出します（左にチェックを入れる）

主な事業費の内訳

	千円
	千円
	千円
	千円
	千円

1 現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

02年度に行った主な活動（※箇条書きで記入）

平成24年度調査箇所なし

事務事業の目的

② 対象（誰、何を対象にしているのか）

大気汚染

③ 意図（この事業で、対象をどのような状態にしたいのか）

基準値超過箇所の状況を把握し、改善処置する。

④ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
			指標数値		
ア	調査回数	回	0	0	0（見込）
イ					（見込）
ウ					（見込）

⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
ア	調査箇所	箇所	0	0	0（見込）
イ					（見込）
ウ					（見込）

⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位		01年度	02年度	03年度
ア	基準値超過有無	箇所	目標	0	0	0
			実績	0	0	
イ			目標			
			実績			
ウ			目標			
			実績			
エ			目標			
			実績			
オ			目標			
			実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳（千円）		01年度（決算値）	02年度（当初予算）	02年度（決算値）	03年度（当初予算）	04年度（計画）	05年度（計画）
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源						
		合計（A）	0	0	0	0	0	0
		（内 会計年度任用職員人件費）						
	正職員人件費[按分]（B）		376	389	384	311		
	トータルコスト（A）＋（B）		376	389	384	311	0	0

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？（誰からの意見か明記）
平成16年5月、井尻粕屋線が新屋敷から粕屋町の扇橋までの間が開通したことにより、交通量の増大で大気汚染調査を実施したものである。	特になし。	特になし。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		02年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	令和02年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
☐ 廃止・休止 ☐ 目的の見直し ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 事務事業終了 ☑ 現状維持・継続		☐ 記述どおり実施できた （コメント必要ありません） ☐ 一部実施できた（理由→） ☐ 実施できなかった（理由→）	

2 評価（SEE）及び全体総括の部＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価		評価の理由
目的妥当性評価	① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください ☑ 貢献度大きい（理由→） ☐ 貢献度ふつう（理由→） ☐ 貢献度小さい（理由→）	光化学スモッグ警報などがあり、地球環境の汚染が深刻になってきている
	② 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？ （事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？） ☑ 妥当である（理由→） ☐ 妥当性が低い（理由→）	交通量の増大で広範な範囲に影響があるかどうか調査が必要である。
有効性評価	③ 成果がこれ以上向上する余地（可能性）はありますか？ ☐ 成果向上余地がある （理由→） ☑ 成果向上余地がない （理由→）	大気の苦情に対して調査を行うものである。
	④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ ☑ 影響あり（理由→） ☐ 影響なし（理由→）	大気汚染の状況を把握できなくなり、基準値超過箇所の状況を改善できなくなる。
効率性評価	⑤ 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋事務従事時間）を削減する新たな方法はありますか？（広域連携や民間委託等の導入など） ☐ ある（具体的な内容→） ☑ ない（理由→）	調査機械作業のための電気代等、最低限の費用である。

(2) 02年度を振り返って（全体総括・反省点）

苦情等により要望があれば、令和3年度以降も県に調査を依頼していく。

3 今後の方向性（03年度以降の計画と04年度予算への反映）(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性（複数選択可）	(2) 令和03年度以降に取り組む内容と期待される効果
☐ 廃止・休止（理由→） ☐ 目的の見直し（内容→） ☐ 有効性改善（成果向上）内容→ ☐ 効率性改善（コスト削減）内容→ ☐ 事業終了 ☑ 現状維持・継続	

[志免町]

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

☐ 令和02年度 実施計画事業　　作成日 令和 3 年 4 月 日

事務事業	13017	緑化推進事業	担当課	都市整備課	担当係	都市整備係

計画体系				予算科目			
後期計画	施策	16	清潔で美しいまちをつくる	会計	1	一般会計
	取り組み方針	450	マナー啓発や美化活動により美しいまちを維持する	款	8	土木費
				項	5	都市計画費
				目	4	緑化推進費
法令根拠条例等				個別計画		

実施期間　☐02年度のみ　☑単年度繰返　不明 年度より開始　☐期間限定（複数年）　年度～　年度

【事業の目的・内容】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

年間を通じ、町が公園や学校等の公共施設以外に植えられている町木（桜）の植栽及び維持管理（草刈、消毒、剪定等）を行う。
維持管理を行っている箇所として、主に本数の多い場所は,日枝橋周辺・向ヶ丘河川敷・御手洗河川敷・東中学校正門前・片峰橋周辺、本数の少ない場所としては王子八幡神社裏・桜丘五丁目沿線等である。
また、桜の開花時期には日枝橋周辺から刈屋橋までと向ヶ丘団地河川敷でライトアップを行っている。

【業務内容(町職員の仕事内容)】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

植栽・維持管理設計業務と入札書類の作成業務、委託管理業者への指示監督や委託料支払事務、住民や町内会等からの苦情・要望等の処理等。

☐ 2次評価会議に提出します（左にチェックを入れる）

主な事業費の内訳

樹木管理委託料	8,448 千円
電気・ガス料	4 千円
日本さくらの会員担金	5 千円
	千円
	千円

1 現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

02年度に行った主な活動（※箇条書きで記入）

・町内に植栽している町木（桜）を2地区に別けて、業務委託により管理する。

② 対象（誰、何を対象にしているのか）

町が管理を行っている町木（桜）

③ 意図（この事業で、対象をどのような状態にしたいのか）

剪定・消毒によって良好に保たれる。

④ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
			指標数値		
ア	町木（桜）剪定数	本	570	570	567（見込）
イ	町木（桜）消毒回数（1本につき）	回	0	0	0（見込）
ウ	桜木植栽数	本	0	0	3（見込）

⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
ア	町が管理を行っている桜木数	本	570	570	567（見込）
イ					（見込）
ウ					（見込）

⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位		01年度	02年度	03年度
ア	開花率	%	目標	100.0	100.0	100.0
			実績	100.0	100.0	
イ			目標			
			実績			
ウ			目標			
			実績			
エ			目標			
			実績			
オ			目標			
			実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳（千円）		01年度（決算値）	02年度（当初予算）	02年度（決算値）	03年度（当初予算）	04年度（計画）	05年度（計画）
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等	5,000	2,000	2,000			
		一般財源	4,070	7,364	6,457	9,538		
		合計（A）	9,070	9,364	8,457	9,538	0	0
		（内 会計年度任用職員人件費）						
	正職員人件費[按分]（B）		2,623	2,718	2,679	1,171		
	トータルコスト（A）＋（B）		11,693	12,082	11,136	10,709	0	0

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？（誰からの意見か明記）
多くの桜の苗木が植樹され、それに伴い維持管理が必要なため。	樹木の成長により暗がりができたり、枝葉が近隣の民家等に張り出している場所が増加してきた。また、植樹されて年数が経っており樹木が弱くなってきており枯れかけているものも見受けらせる。	「落ち葉が雨どいに詰まるので枝葉を落として欲しい」「樹木を間引きして欲しい」など、近隣住民の方からの苦情や要望が増えている。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		02年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	令和02年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
☐ 廃止・休止 ☐ 目的の見直し ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 事務事業終了 ☑ 現状維持・継続		☐ 記述どおり実施できた（コメント必要ありません） ☐ 一部実施できた（理由→） ☐ 実施できなかった（理由→）	

2 評価（SEE）及び全体総括の部＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価		評価の理由
目的妥当性評価	① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください ☑ 貢献度大きい（理由→） ☐ 貢献度ふつう（理由→） ☐ 貢献度小さい（理由→）	桜の開花時期には各スポットに多くの方が来ていただいており、上位施策への貢献度は大きいと考えられる。
目的妥当性評価	② 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？ （事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？） ☑ 妥当である（理由→） ☐ 妥当性が低い（理由→）	緑豊かで憩いのある町民生活の向上を考慮すると、町が事業を継続する必要がある。 町有地等に植えてあるため、町が管理を行う必要がある。
有効性評価	③ 成果がこれ以上向上する余地（可能性）はありますか？ ☐ 成果向上余地がある （理由→） ☑ 成果向上余地がない （理由→）	剪定や消毒など、適正な管理を行っているため向上余地はない。
有効性評価	④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ ☑ 影響あり（理由→） ☐ 影響なし（理由→）	自然とのふれあい、コミュニティー形成といった人間形成に資する効果が得られなくなる。 また、桜の管理を怠れば、害虫の発生や樹木の成長による暗がりや死角の増加により、苦情や犯罪の原因となる恐れがある。
効率性評価	⑤ 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋事務従事時間）を削減する新たな方法はありますか？（広域連携や民間委託等の導入など） ☑ ある（具体的な内容→） ☐ ない（理由→）	樹木が成長するため、事業費は増えていくものと思われるが、消毒等の作業方法・回数の見直しを図り現状維持をしたい。

(2) 02年度を振り返って（全体総括・反省点）

樹木管理については、毎年害虫の発生時期や苦情内容などが異なるため、その都度、樹木管理委託業者と協議を行い最適な方法で管理を行った。また樹木の枯死などにより伐採を3か所実施した。町内全域的に桜の枯込み等が見受けられるため、植替えなども検討していきたい。今後もみなさんが町花である桜の開花を楽しめるように最適な管理を行っていきたい。

3 今後の方向性（03年度以降の計画と04年度予算への反映）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（複数選択可）	(2) 令和03年度以降に取り組む内容と期待される効果
☐ 廃止・休止（理由→） ☐ 目的の見直し（内容→） ☐ 有効性改善（成果向上）内容→ ☐ 効率性改善（コスト削減）内容→ ☐ 事業終了 ☑ 現状維持・継続	

[志免町]

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

☐ 令和02年度 実施計画事業　　作成日 令和 3 年 4 月 日

事務事業	13018	花づくり事業	担当課	都市整備課	担当係	都市整備係

後期計画体系				予算科目			
計画	施策	16	清潔で美しいまちをつくる	会計	1	一般会計	
				款	8	土木費	
	取り組み方針	450	マナー啓発や美化活動により美しいまちを維持する	項	5	都市計画費	
				目	6	花づくり事業費	
法令根拠条例等				個別計画			
実施期間	☐02年度のみ	☑単年度繰返	H12 年度より開始	☐期間限定（複数年）	年度～ 年度		

【事業の目的・内容】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

町の景観づくりと住民の行政参加を促進するため、各種ボランティア団体・企業・町内会・老人クラブ・小中学校・保育園・幼稚園等の協力を得て、人通りが多い道路沿いの花壇や空き地・公共用地及び公園等に年間を通して花を植えていただいている事業。
花の苗を育成するための施設である育苗センターの維持管理も含まれている。

【業務内容（町職員の仕事内容）】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

町施設の育苗センターで花の苗を育成し、花苗を各団体に配給し、花植え及び維持管理等の協力をしている。

☐ 2次評価会議に提出します（左にチェックを入れる）

主な事業費の内訳

花づくり作業委託料	1,842 千円
消耗品費	1,545 千円
花づくり管理委託料	1,491 千円
燃料費	132 千円
公用車修繕料	83 千円

1 現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

02年度に行った主な活動（※箇条書きで記入）

育苗センター内で花の苗を育成し、各町内会・小中学校・保育園・幼稚園・老人クラブ及び各種ボランティア団体等へ花苗を配給し、植込み作業及び維持管理等の協力。

事務事業の目的

② 対象（誰、何を対象にしているのか）

各町内会・小中学校・幼稚園・保育園・老人クラブ・町内全域の各種ボランティア団体・企業・花壇等の植え込み箇所

③ 意図（この事業で、対象をどのような状態にしたいのか）

・各種団体に花植えや花壇の維持管理をしてもらう
・花壇等を花植えで美しく保つ

④ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
			指標数値		
ア	育苗した苗数	鉢	50,568	33,689	50,000（見込）
イ	担当課が植え込み・管理している箇所数	箇所	20	20	20（見込）
ウ					（見込）

⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
ア	人口	人	46,255	46,407	46,509（見込）
イ					（見込）
ウ					（見込）

⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位		01年度	02年度	03年度
ア	年間植込み本数	鉢	目標	80,000	50,568	50,000
			実績	50,568	33,039	
イ	植え込みをした団体数	団体	目標	46	46	46
			実績	46	33	
ウ	協力団体が植込みした箇所数	箇所	目標	56	56	56
			実績	56	40	
エ	花壇等が適正に管理された割合	%	目標	100	100	100
			実績	100	100	
オ			目標			
			実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳（千円）		01年度（決算値）	02年度（当初予算）	02年度（決算値）	03年度（当初予算）	04年度（計画）	05年度（計画）
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源	6,946	7,480	5,269	7,465		
		合計（A）	6,946	7,480	5,269	7,465	0	0
		（内 会計年度任用職員人件費）				5,164		
	正職員人件費[按分]（B）		3,080	4,432	4,441	1,875		
	トータルコスト（A）＋（B）		10,026	11,912	9,710	9,340	0	0

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？（誰からの意見か明記）
住民参加による街並み景観づくりのために、平成12年4月に、「花いっぱい運動」が始動した。	開始時期と比較して、花植えに対する認識は少しずつではあるが増加してきている。学校・幼稚園・保育園関係は花植えが定着しているが、ボランティア団体は参加人数が減少傾向にある。	地域住民の方々から、「花で町がきれいになった。」との意見が多く聞かれる。各種参加団体等からは、「苗の種類は多い方がいい」「開花期間の長い花を植えたい」等の要望があった。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		02年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	令和02年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
☐ 廃止・休止 ☐ 目的の見直し ☑ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 事務事業終了 ☐ 現状維持・継続	ボランティアの募集についてホームページでの掲載内容の見直しやその他の媒体の活用を検討する。新規参加者の増加に努めることで成果は向上する。	☐ 記述どおり実施できた（コメント必要ありません） ☑ 一部実施できた（理由→） ☐ 実施できなかった（理由→）	ボランティア団体募集をホームページにて掲載し啓発している。今後は、掲載内容の見直しやその他の媒体の活用を検討し、団体数の増加に努めていく。

2 評価（SEE）及び全体総括の部＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価		評価の理由
目的妥当性評価	① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください ☑ 貢献度大きい（理由→） ☐ 貢献度ふつう（理由→） ☐ 貢献度小さい（理由→）	花を植えることで美しい景観が保て心が安らぐと共に、植栽している花壇は除草や清掃作業を行っている為、町民にとって良好な住環境を保つことができる。
	② 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？ （事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？） ☑ 妥当である（理由→） ☐ 妥当性が低い（理由→）	公共用地等に花苗を植える事で美しい街並みが保たれ、環境美化の意識が高まり、ポイ捨てなどの環境問題も減少する。 また、町内会やボランティア単独で花壇を管理するには、苗や土、肥料代等費用面でも負担が大きく継続が難しいが、育苗センターで育てた苗を提供することで、ボランティア団体の活動継続に貢献でき、花壇も美しく保たれる。
有効性評価	③ 成果がこれ以上向上する余地（可能性）はありますか？ ☑ 成果向上余地がある （理由→） ☐ 成果向上余地がない （理由→）	もっとボランティア団体や人口を増やす必要がある。現在の配達先は幼稚園、公民館、小中学校が主である。育苗センターの管理人が行っている。
	④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ ☑ 影響あり（理由→） ☐ 影響なし（理由→）	花のある美しい街並みが減少する。道路沿いや公園・公共用地等へのポイ捨て等の問題が多発し、住環境の悪化につながる。また、定期的な植栽が出来ず、花壇として使用されなくなれば雑草が繁茂し、公園や道路維持費で除草・管理する必要がある。
効率性評価	⑤ 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋事務従事時間）を削減する新たな方法はありますか？（広域連携や民間委託等の導入など） ☐ ある（具体的な内容→） ☑ ない（理由→）	出来る限りの花壇の除草や花植はボランティアが行っているが、業者による消毒や、花壇の修繕などこれ以上コスト削減は難しいと思われる。

(2) 02年度を振り返って（全体総括・反省点）

花植え、花壇管理のボランティア（個人・団体）についてホームページで募集を実施した。新規参加者がなかったため、掲載内容の見直しやその他の媒体の活用を検討し、人数の増加に努めていく。令和2年度は、コロナウイルス感染症の影響で前期分の花苗の配達を中止した。また、花植えを自粛されるボランティア団体も多く、育苗数が減少した。

3 今後の方向性（03年度以降の計画と04年度予算への反映）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（複数選択可）	(2) 令和03年度以降に取り組む内容と期待される効果
☐ 廃止・休止（理由→） ☐ 目的の見直し（内容→） ☑ 有効性改善（成果向上）内容→ ☐ 効率性改善（コスト削減）内容→ ☐ 事業終了 ☐ 現状維持・継続	ボランティアの募集についてホームページでの掲載内容の見直しやその他の媒体の活用を検討する。新規参加者の増加に努めることで成果は向上する。

[志免町]

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

☐ 令和02年度 実施計画事業　　作成日 令和 3 年 4 月 日

事務事業	13019	道路違法広告物撤去事業	担当課	都市整備課	担当係	都市整備係

後期計画体系				予算科目			
計画	施策	16	清潔で美しいまちをつくる	会計	1	一般会計
体系	取り組み方針	450	マナー啓発や美化活動により美しいまちを維持する	款	8	土木費
				項	2	道路橋梁費
				目	2	道路維持費
法令根拠条例等			道路法・道路交通法・屋外広告物法・福岡県屋外広告物条例	個別計画		

実施期間　☐02年度のみ　☑単年度繰返　不明 年度より開始　☐期間限定（複数年）　年度～　年度

【事業の目的・内容】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

安全で美しい道路環境を維持する事を目的とし、「福岡県屋外広告物条例」に基づき、町内道路の安全通行の妨げになる看板、張り紙等を撤去する。
撤去作業業務委託を発注し、歩行者・車輌の通行上妨げとなる物や風紀上良くない物については随時職員で撤去作業を行っている。

【業務内容(町職員の仕事内容)】（改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください）

職員は自ら撤去作業を行ったり、業者に委託したりしている。

☐ 2次評価会議に提出します（左にチェックを入れる）

主な事業費の内訳

屋外施設管理委託料	968 千円
	千円
	千円
	千円
	千円

1 現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

02年度に行った主な活動（※箇条書きで記入）

年間を通して町内道路の違法看板、張り紙等を撤去。

④ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
ア	撤去回数	回	12	12	10（見込）
イ					（見込）
ウ					（見込）

事務事業の目的

② 対象（誰、何を対象にしているのか）

町内全域の道路の看板、張り紙等

⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）

	名称	単位	01年度	02年度	03年度
ア	撤去すべき看板等数	枚	145	83	500（見込）
イ					（見込）
ウ					（見込）

③ 意図（この事業で、対象をどのような状態にしたいのか）

町内の道路を安全に通行しやすくするとともに、環境美化に努める。

⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）

	名称	単位		01年度	02年度	03年度
ア	撤去した看板等の数	枚	目標	1,000	1,000	500
			実績	145	83	
イ			目標			
			実績			
ウ			目標			
			実績			
エ			目標			
			実績			
オ			目標			
			実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳（千円）		01年度（決算値）	02年度（当初予算）	02年度（決算値）	03年度（当初予算）	04年度（計画）	05年度（計画）
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源	908	1,220	968	900		
		合計（A）	908	1,220	968	900	0	0
		（内 会計年度任用職員人件費）						
	正職員人件費[按分]（B）		1,127	1,241	1,223	1,650		
	トータルコスト（A）＋（B）		2,035	2,461	2,191	2,550	0	0

事務事業評価表（事業実施年度：令和02年度）

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか？いつ頃どんな経緯で開始されましたか？	② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化していますか？	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか？（誰からの意見か明記）
町内道路の電柱、ガードレール等の看板、張り紙等により、交通標識や案内板が、見えにくくなっており安全な通行が妨げられているため。	看板、張り紙等の撤去により、道路の安全な通行ができるようになった。	定期的に撤去作業をおこなっているので、道路等の交通の安全が保たれているという意見が寄せられている。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		02年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	令和02年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
☐ 廃止・休止 ☐ 目的の見直し ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 事務事業終了 ☑ 現状維持・継続		☐ 記述どおり実施できた （コメント必要ありません） ☐ 一部実施できた（理由→） ☐ 実施できなかった（理由→）	

2 評価（SEE）及び全体総括の部＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価		評価の理由
目的妥当性評価	① 上位施策への貢献度は大きいですか？※総合計画を参照してください ☐ 貢献度大きい（理由→） ☑ 貢献度ふつう（理由→） ☐ 貢献度小さい（理由→）	違法広告物を撤去することで、良好な道路環境を維持しているため。
目的妥当性評価	② 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？ （事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか？） ☑ 妥当である（理由→） ☐ 妥当性が低い（理由→）	公共施設である道路の違法広告を除却撤去しているため。
有効性評価	③ 成果がこれ以上向上する余地（可能性）はありますか？ ☐ 成果向上余地がある （理由→） ☑ 成果向上余地がない （理由→）	確認している違法広告物は全て撤去しているため。
有効性評価	④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか？ ☑ 影響あり（理由→） ☐ 影響なし（理由→）	良好な道路環境を維持できなくなるため。
効率性評価	⑤ 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋事務従事時間）を削減する新たな方法はありますか？（広域連携や民間委託等の導入など） ☐ ある（具体的な内容→） ☑ ない（理由→）	予算削減の方法としては職員による巡回・除却撤去作業を増やすことが挙げられるが、相当な時間を費やし、他の事業への影響が大きい為、現在の方法が最適である。

(2) 02年度を振り返って（全体総括・反省点）

違法広告物の撤去件数は年々減少傾向にあり、良好な道路環境を維持することができている。

3 今後の方向性（03年度以降の計画と04年度予算への反映）(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性（複数選択可）	(2) 令和03年度以降に取り組む内容と期待される効果
☐ 廃止・休止（理由→） ☐ 目的の見直し（内容→） ☐ 有効性改善（成果向上）内容→ ☐ 効率性改善（コスト削減）内容→ ☐ 事業終了 ☑ 現状維持・継続	